

第1号議案

令和2年度事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、社会・経済すべてが大きな打撃を受けました。当センターも例外なく、会員数及び契約額とも前年度を下回る結果となりました。

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少から人手不足解消にシルバー人材センターへの期待が高まる中、『地域や会員に魅力あるセンターを目指して』今年度から始まった第4次中期計画の目標達成に尽力してまいりました。

喫緊の重要課題と位置づけている会員増強と就業機会確保につきましては、2度にわたる緊急事態宣言の発令により社会・経済が縮小し、会員数、契約額とも前年度実績まで挽回できませんでしたが、次年度に向けて景況に回復基調が望めることや新規の就業先確保など明るい兆しが見えています。

安全就業推進につきましては、重篤事故はありませんでしたが、加齢による転倒など傷害事故が増加しております。また、賠償事故対策では草刈り作業での石飛び事故防止が全国共通の課題となっております。

定年延長が進み、会員の年齢も上がっています。事故に遭う可能性が高まっており、健康管理と安全就業への意識啓発を継続的に発信していく必要があります。

地域貢献活動や会員意識向上啓発活動につきましては、コロナ禍での感染予防対策により、イベントが相次ぎ中止となり、ほとんどの活動は停止となりました。

かが交流プラザさくらが貸館中止となり、利用者は前年度実績から半減しております。

加賀市委託事業「介護予防・日常生活支援総合事業」は、サポーター会員の高齢化と増員が叶わず現状維持も厳しく、センター独自の新たな取り組みが必要となっております。

ボランティア活動は、年2回継続的に実施していますが、参加率は伸びず、シルバー会員としての意識啓発に課題を残しております。

コロナ禍で人との関わりが制限され、生活習慣の変化から多くの方がストレスを感じる状況にあります。地域と会員の元気回復を願い、元気回復キャンペーン活動を実施しました「シルバー元気まつり・食まつり」には、多くの地域住民、会員が集い、コロナ収束が見えない中、次年度継続開催につながる結果となりました。

定年延長により高齢化が着実に進むと同時に、ウイズコロナ生活を続けざるを得ない状況下、地域の皆さまに愛され、信頼されるシルバー人材センターとして地域ニーズに合う事業運営を、会員・役職員がワンチームとして取り組んでいかねばなりません。

令和2年度事業実績詳細については、次のとおり報告いたします。

1. 会員の登録状況

区分	令和2年度	令和元年度	差引
男	503人	506人	△3人
女	347人	348人	△1人
計	850人	854人	△4人

会員の平均年齢（歳）			会員の最高年齢（歳）	
男性	女性	全体	男性	女性
74.0	73.3	73.7	92	90

(単位：人)

項目	年度当初 会員数	入会 員数	退会 員数	年度末 会員数	退 会 理 由				
					就 職	病 気	死 亡	加 齢	そ の 他
男	506	45	48	503	5	24	3	5	11
女	348	50	51	347	4	23	1	11	12
計	854	95	99	850	9	47	4	16	23

2. 事業の実績

項 目		令和2年度	令和元年度	前年度のとの比較	
会員数		850人	854人	△4人	△0.5%
	男性	503人	506人	△3人	△0.6%
	女性	347人	348人	△1人	△0.3%
就業率		73.8%	77.5%		△3.7%
就業延人日計		80,080人日	82,472人日	△2,392人日	△2.9%
請 負 事 業	就業延人日計	51,631人日	54,607人日	△2,976人日	△5.4%
	受注件数	2,448件	2,630件	△182件	△6.9%
	契約金額	226,583,107円	242,393,664円	△15,810,557円	△6.5%
	配分金	200,928,084円	215,060,020円	△14,131,936円	△6.6%
	材料費	10,022,794円	10,588,199円	△565,405円	△5.3%
	事務費	15,632,229円	16,745,445円	△1,113,216円	△6.6%
派 遣 事 業	就業延人日数	28,449人日	27,865人日	584人日	2.1%
	受注件数	150件	191件	△41件	△21.5%
	契約金額	119,040,501円	126,828,019円	△7,787,518円	△6.1%
	賃金	108,262,249円	115,533,751円	△7,271,502円	△6.3%
	事務費	10,778,252円	11,294,268円	△516,016円	△4.6%

合 計	契約金額合計	345,623,608	円	369,221,683	円	△ 23,598,075	円	△6.4%	
	内訳	配分金・賃金	309,190,333	円	330,593,771	円	△ 21,403,438	円	△6.5%
		材 料 費	10,022,794	円	10,588,199	円	△ 565,405	円	△5.3%
		事 務 費	26,410,481	円	28,039,713	円	△ 1,629,232	円	△5.8%

(再掲)

○ 元気市事業の実績 (内訳)

① 大聖寺元気市 (R2.5.23~R.2.12.26 毎週土曜日 8:00~10:00)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減
収 入 金 額 (円)	1,257,141	1,630,090	△372,949
就 業 実 人 員 (人)	10	15	△5
就 業 延 日 人 数 (人)	217	294	△77

② 片山津元気市 (R2.6.7~R.2.12.20 毎週日曜日 7:30~10:00)

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減
収 入 金 額 (円)	961,950	1,203,670	△241,720
就 業 実 人 員 (人)	12	15	△3
就 業 延 日 人 数 (人)	183	248	△65

③ 普及啓発事業 コロナウイルスのため元気まつりのみ実施 11/14

区 分	加賀温泉郷 マラソン大会	十万石まつり	大聖寺文化 の祭典	エコフェスタ	元気まつり
収 入 金 額 (円)	0	0	0	0	129,513
就 業 実 人 員 (人)					13
就 業 延 日 人 数 (人)					13

内容 ・元気まつり (野菜・加工食品販売)・餅・コーヒー

○ レストランさくら

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減
収 入 金 額 (円)	6,380,245	8,773,930	△2,393,685
国・市補助金 (円)	0	1,000,000	△1,000,000
費 用 (経 費) (円)	8,433,255	10,896,018	△2,462,763
収 支 (円)	△2,053,010	△1,122,088	△930,922
利用者人数 (人)	11,017	14,807	△3,790

3. 地域貢献の推進

- ① 地域貢献活動の主たる柱である「かが交流プラザさくら」は、コロナウィルスの影響のため4月13日から10月末まで貸館停止となり、前年度7万人の利用者が4万6千人と激減しました。また、「レストランさくら」も国等の補助金の終了に加え会議室利用者の減少により収支は極めて厳しかったものの年度末の2月、3月は回復傾向がみられることから今後とも、地域に愛されるレストランを目指して事業を継続してまいります。

昨年度実施しました60歳以上の高齢者を対象として、かが交流プラザさくらの利用率向上とシルバー人材センターのイメージアップに実施した「シルバーいきいきサロン」としてのスマホ教室、美容教室、料理教室、ヨガ体験などはすべて中止にいたしました。

- ② 加賀市委託事業「加賀市高齢者家事支援サービス事業」は、活動サポーター会員の新規獲得もありましたが活動を終了した会員もあり、活動した会員は9名でありました。一方で新規利用者もいた中、介護保険への移行もあり、出入りが激しく、最大22名の利用者は、年度末には12名にとどまり実績も減少しました。
- ③ ボランティア活動は、例年春・秋年2回実施しておりますが、2回で260名の参加で参加率も20%を切っており、参加率向上が課題となっております。
- ④ 新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発出され、これまで例のない生活習慣の変化から、多大なストレスを感じる状況を慰労及び元気回復を願い、かが交流プラザさくらを会場に「シルバー元気まつり・食まつり」を開催し、約500名の参加で賑わい、継続開催の要望もありました。

4. 会員増強及び契約実績について

[会員増強]

- ① 会員確保につきましては、昨年度末854名の会員数が新型コロナウイルス感染予防対策により、強力な外出自粛要請や就業先が減少し、年度初めから退会者が相次ぎ、上半期で約90名の退会者を数えました。後半、盛り返し大型就業先確保によりどうにか850名まで挽回できました。

65歳定年が70歳までの定年延長が推進されており、新規入会が70歳を超える会員が目立っております。平均年齢も73.7歳とわずかながら上がっており、年齢構成も70代以上が78%を占め、高齢化が進んでおります。

コロナ禍で体調不良及び加齢に加え希望の就業先が見つからない故の退会者が増え、新たな就業先確保が課題となっております。

- ② 新規入会会員対策として、会員の入会動機が会員の友人・知人の割合が多いことから、昨年度より会員紹介の報奨制度を導入しており、前年度から倍増し21名の実績を上げました。今後も継続実施し会員増につなげていくことが肝要です。

[契約実績]

- ① 契約実績につきましては、新型コロナウイルスの影響が大きく響き、請負実績は前年度比 6.5%減、派遣実績が 6.1%減となり、全契約額は、3 億 4 千 5 百万と 2 千 3 百 6 十万円 6.4%減という厳しい結果に終わりました。

年度末になり、総合経済対策の効果や海外経済の改善もあって、契約実績が前年度同月を上回り、感染症流行前の水準に回復する兆しがうかがえます。

- ② 収支決算につきましては、収益 2 億 8319 万円、経費 2 億 8441 万円で 122 万円の赤字決算となりました。

5. 健康管理と安全就業の推進

[事故防止対策]

- ① 令和 2 年度事故発生状況は、傷害事故 8 件、賠償事故 2 件起きております。傷害事故は、前々年度 3 件、前年度 4 件から徐々に増加しております。これまで、屋外の危険を伴う作業でのケガが多かったが、加齢を要因とする転倒などが目立ち高齢化の進展に留意し、ヒヤリハットの注意喚起及びフレイル予防強化が必要となっております。
- ② 地球温暖化による夏季 30℃以上の真夏日や 35℃以上猛暑日が何日もあり、熱中症リスクが年々高まっております。県内シルバーで 10 件発生しておりますが、当センターでは、注意喚起が奏功し事故報告はありませんでした。
- ③ 賠償事故は、2 件とも草刈り作業中の石飛び事故でした。石川県安全衛生委員会でも重要案件となっており、職員・会員一体となり取り組まなければならない最重要課題です。

[安全就業意識の啓発と向上]

- ① 安全就業と健康管理は両輪であることから始めた健診受診奨励制度は、102 名の会員が利用し成果を上げております。
- ② シルバー会員としての意識向上及び安全就業推進に 12 月から会員だよりを発行し、コロナ禍での感染予防注意事項やストレス解消法、転倒予防運動など健康管理に役立つ情報発信しております。
- ③ 安全就業標語応募は、18 人から 44 作品、健康標語は 19 人から 45 作品あり、最優秀作品各 1 点を啓発活動に活用していきます。

6. 組織体制の充実・強化

[理事会・各専門委員会の活動充実]

- ① 役員の見識を広め、事業運営に生かすために実施している理事会視察研修は、コロナ感染拡大防止から実施できませんでした。
- ② 各専門委員会開催においても、コロナ禍でのイベントや活動制限により、新たな事業展開行うテーマも乏しくなり十分な活動を行うことが適いませんでした。

[事務局体制の強化]

業務量の増加と煩雑さが増し、職員への労務負荷も一段と厳しくなると共に資質向上が求められる状況にあるが、石川労働局や石川県公益認定担当部局立入検査において良好と認められ、業務の停滞もなく、円滑に執行しております。

また、お客様アンケートでも事務局対応のクレームはほとんどなくなっております。

近年、シルバー理念〈自主・自立・共働・共助〉と相対する会員間トラブルが頻発しており、会員相談窓口など事務局での態勢が必要となっている。